

# 研修のセット化のご提案

[【研修のご案内】](#)

## 1.1 研修

企業内研修は、受注の多品種少量化、短納期化、低価格化等の影響に対応するためのテーマ選択が顕著です。近年、ご要望の多い研修テーマは次の内容です。

	単科研修	研修のセット化 (階層毎の研修セット)	実践研修(診断・ゼミ)のテーマ
①	課題解決・問題解消	課題解決・問題解消研修	経営戦略立案
②	QC の基礎	今後の生産体制整備研修	生産管理・組織管理の仕組み
③	IE 現場改善	原価・品質・現場改善	新生産システム (受注の変化対応)
④	ヒューマンエラー、ポカミス防止	ヒューマンエラー、ポカミス研修	原価管理、原価削減 (品質コスト)
⑤	原価管理、原価改善	機械化・自動化と人材育成・OJT	新製品・新事業

※ お会社の年度末には、経営戦略・計画立案の実践研修で、実際に会社の経営計画・設備計画・人材計画等を立案されることがあります。計画実現のために、経営課題のテーマの研修をセットで実施すると、より効果的です。

## 1.2 研修セットの考え方

### ■経営は団体戦

会社経営は役割分担をして戦う団体戦です。しかし中堅中小製造業では、各階層の役割が全うされていないケースがよく見られます。会社の課題・問題は、職位責任に応じて対応することが必要です。

その為 本来は、経営層が管理層に指導・教育する、管理層が実務層に指導・教育することが理想です。

**会社は、団体戦！ 職位・担当などにより、対象となる課題・問題は異なる！！**  
**現場で問題発生を繰り返すのは、管理者・指導者の責任！**

### ■研修計画のお勧め

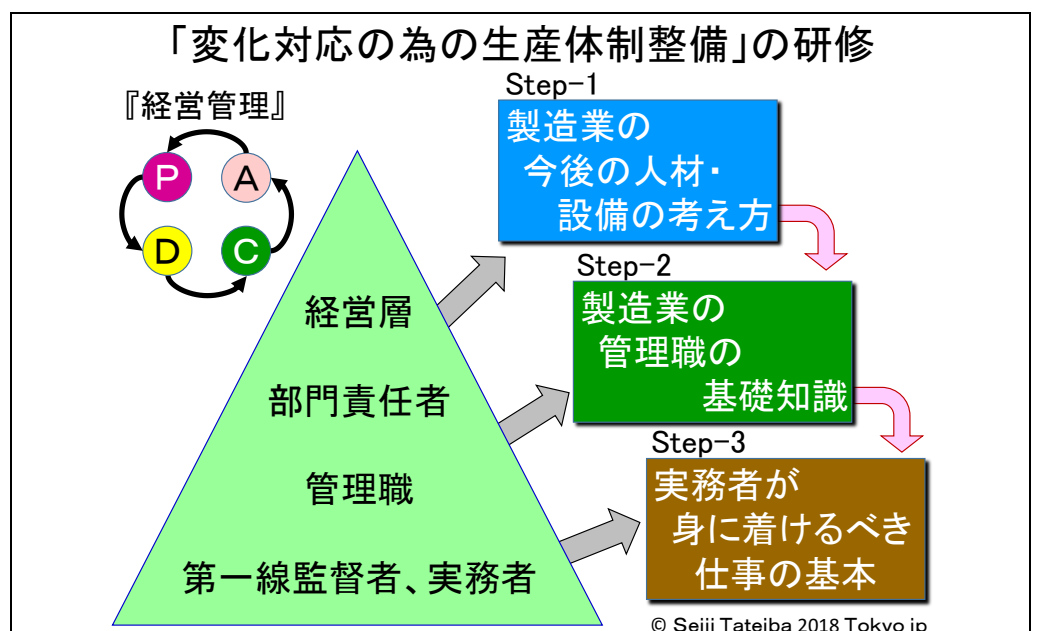
近年、経営環境の変化から、経営や管理が機能していない会社が多くみられます。

本来の意味からすると「課題・問題解消」は、「管理をする事」と同義です。可能ならば、全社の管理体制の再検討を考え、「経営層」→「管理層」→「実務層」の順で、計画される事をお勧めします。

**社内の各階層で受講する 研修のセット化が 理想です。**

新しい考え方・方法・仕組みの導入は、方向性を明確にし、一連の研修を階層ごと実施したり、各部門で研修テーマを分担して体系的に受講する事が効果的であると思われます。

お問合せをいただければ、お勧めの研修をセット化してご提案することが可能です。



1.3 研修のセット化例（研修シリーズの階層連携実施）

経営革新の為に、会社全体で取り組む研修セットがお勧めです！

【研修のご案内】 【お問合せ】

パターン(1) 課題解決・問題解消研修シリーズ

Step-1 「経営課題・問題の解決・管理」	経営層向け研修
Step-2 「課題解決、問題解消、管理の基本」	管理者研修（工場長・管理職）
Step-3 「製造現場の問題解消」	指導監督者研修（係長、現場リーダー）

パターン(2) 原価・品質・現場改善

Step-1 「原価管理システムの構築」	管理者研修（工場長・管理職）
Step-2 「5SとIE改善」	実務者研修（係長、実務者）
Step-3 「生産管理の基礎」	管理者研修（工場長・管理職）
Step-4 「QCCの基礎」	実務者研修（係長、現場リーダー、実務者）

パターン(3) ヒューマンエラー、ポカミス研修シリーズ

Step-1 「会社のリスク、ヒューマンエラーマネジメント」	経営層向け研修
Step-2 「ヒューマンエラー、ポカミスの対策と予防」	管理者研修（工場長・管理職）
Step-3 「実務のエラー、ポカミス対策」	実務者研修（係長、現場リーダー、実務者）

パターン(4) 機械化・自動化と人材育成

Step-1 「製品戦略と知的資本経営」	経営層実践研修（経営層、工場長）
Step-2 「機械化・自動化・スマート化と人材育成」	経営層・管理者実践研修（経営層、工場長、課長）
Step-3 「人材育成・技術技能伝承システム」	管理者研修（工場長・管理職）
Step-4 「現場力を高める OJT」	管理職・指導監督者研修（課長、係長、現場リーダー）

パターン(5) 今後の生産体制整備研修シリーズ

Step-1 「今後の人材・設備の考え方」	経営層・管理者研修（経営層、工場長、課長）
Step-2 「管理職の基礎知識」	管理者研修（工場長・管理職）
Step-3 「実務者が身に付けるべき仕事の基本」	管理職・指導監督者研修（課長、係長、現場リーダー）

※ お会社の事情や意図に応じて、研修をご自由に組み合わせていただいても結構です。  
ご相談いただければ対応いたします。

【コンサルのつぶやき】 組織的・体系的な取り組みを・・・。

例えば、実務者のポカミスなどを減らすために「実務者研修」を実施することは有効です。

しかし、効果は一時的なものにとどまる可能性があります。

組織として効果を持続させるように取り組みたいのであれば、研修は 指導・監督する第一線監督者や管理職が受講し、実務者を教育・指導することが理想かもしれません。

- |   |
|---|
| 教育の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・実務者には、第一線監督者が指導・監督・OJTする。</li> <li>・一線監督者には、管理職が課の仕組みを作り教育・指導する。</li> <li>・管理職には、工場長などの部門責任者が、部門の仕組みを作り教育・指導する。</li> <li>・工場長などの部門責任者は、経営層が指導する。</li> </ul> |
|---|

・・・のような 組織として 体系的な 取り組みをすることが 望まれます。



株式会社IMEコンサルティング  
東京都大田区蒲田

お問合せ、ご相談等は、弊社ホームページのお問合せよりご連絡ください。

【お問合せ】